



- 2面 ひとり親世帯臨時特別給付金を支給
- 3面 国民健康保険限度額適用認定証[※]と更新を
- 4面 未来へ平和をつなげよう
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●198,380(+101) 世帯数●83,311(+883)
 2020年7月1日推計 ()は前年7月1日比
 発行・伊丹市広報課



令和2年度日本遺産に認定

清酒発祥の地 伊丹

6月19日、本市と神戸・尼崎・西宮・芦屋市が申請を行った「伊丹諸白」と灘の生一本下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷が日本遺産に認定されました。本紙では認定されたストーリーの概要を紹介いたします。問い合わせは市都市ブランド・観光戦略課 ☎744・2088へ。

「澄み酒」の出現と「伊丹諸白」

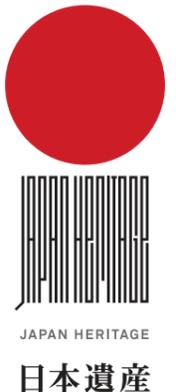
本市鴻池に建つ鴻池稲荷祠(いしほら)（写真①）に、「鴻池家は酒造によって財をなし、慶長5（1600）年から200年も続いている。その初代は幸元で山中鹿之介の子であると言われている。鴻池家は、初めて清酒諸白を製

造し、江戸まで出荷した。」と刻まれています。白く濁った濁り酒ではない「澄み酒」が生み出された、「清酒発祥の地・伊丹」を伝える伝承です。江戸では、関西・上方から送られた諸産物を「下り物」として好みました。中でも酒は、「下り酒」として歓迎されました。とりわけ伊丹の酒は、麴と掛米

六甲山の恵みと丹波杜氏が生んだ「灘の生一本」

伊丹から清酒造りを導入した西宮・灘の酒蔵は、背後にそびえる六甲山から多くの恵みを得、下り酒の産地として台頭します。

六甲山の東南麓、西宮郷で汲み上げる伏流水「宮水」は、酒造りの天与の霊水といわれ、淡麗な「灘の男酒」である「灘の生一本」を生み出しました。



「下り酒」と「樽廻船」

下り酒を江戸へ届けたのは、酒輸送専用の樽廻船(写真②)でした。江戸時代末には、樽廻船で江戸へ下った酒は1年100万樽、江戸の酒の8割を占めました。樽廻船は、明治になってその地位を汽船や鉄道に譲るまで江戸へ酒を送り続け、伊丹・西宮・灘の江戸積み酒造りの発展を流通から支えました。また、潮風にさらされて酒の味が落ちないように、大切に瓶で包む菰樽(写真③)が開発されました。

酒造家が生んだ文化

酒造家たちは、江戸積み酒造りもたらした富を芸術、文化、教育や建築に注ぎました。酒造家たちの文化への眼差しは今日「阪神間モダニズム」と称される近代文化動興の核となり、近代化への思いは阪神間の都市の骨格を形作りました。多くの恵みをもたらしてくれた六甲山系の麓「阪神間」の伊丹・灘五郷28歳は、酒造技術の継承と革新という江戸時代以来の酒蔵の伝統を伝え、清酒の基準を確立した酒造家としての矜持と進取の気風を生み出しました。酒造りの人と風土に恵まれたこの地では、世界の人々に愛される多彩な清酒が造られています。

日本遺産とは

文化庁は、地域の歴史的な魅力や特色を通じて文化や伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定しています。ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形のさまざまな文化財群を総合的に活用する取り組みを支援しています。世界遺産登録は登録される文化財の保護を目的としますが、日本遺産は地域に点在する遺産を総合的に活用し発信することで、地域活性化を図ることを目的としています。

重要文化財 旧岡田家住宅

旧岡田家住宅(写真④)は、店舗、釜屋・洗い場、酒蔵から

成り、店舗は延宝2（1674）年に建てられたことが棟札からわかっています。年代が判明し現存する日本最古の酒蔵で、江戸時代に隆盛を極めた伊丹の酒造業の歴史を今に伝える重要な文化財です。入場無料。9月1日（令和4年3月31日（予定））は、休館のため入場できません。

祝日本遺産認定！
ミニ展示

8月1日(土)から、博物館で。江戸積み酒造業で繁栄した伊丹郷町の下り酒についての展示です。

▽酒樽・桶作り道具(県指定有形文化財)▽樽廻船の模型▽酒造業に関わる古文書—などを紹介します。入場無料。

▽日本遺産認定記念企画「伊丹とお酒」講演会 8月22日(土)午後2時、図書館(こぼ蔵)で。博物館学芸員の新宮由真さんと伊丹老松酒造(株)の高橋晃さんによる、日本酒に関する講演です。定員20人。無料。

▽8月5日から図書館(こぼ蔵) ☎784・8170へ。先着順。

みやのまえ文化の郷 9月から休館

みやのまえ文化の郷(美術館・工芸センター・伊丹郷町館・柿衛文庫)は、9月1日～令和4年3月末(予定)、博物館の機能移転ならびに大規模改修工事のため休館します。同期間の利用はできません。市文化振興課 ☎784-8043

今年の花火大会は中止

第40回いたみ花火大会は、次の理由により中止します。
 ▷警備員などの確保が困難▷新型コロナウイルス感染症の影響により、事前の準備と当日の感染防止対策が困難。
 市まちなかにぎわい課 ☎784-8068

新しい生活様式

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、▷身体的距離の確保▷マスクの着用▷手洗い—など、「新しい生活様式」の実践に協力をお願いします。詳しくは厚生労働省ホームページから確認を。

キャッシュレス決済

ポイント還元事業

「PayPay」を利用して買い物をした場合、支払い金額の最大25%のPayPayポイント(上限5千円相当/回。5千円/期間)が支払日の翌日から30日後(予定)に付与されます。申し込み不要。

◎PayPay新規加入店舗を募集 PayPay加盟店でない市内の店舗を対象に、新規加入に向けた説明会を開催します。

日時などは次の通り。
 ▽日時 8月6日(木)午後2時
 ▽会場 川東りいたみホール5階の会議室1。
 定員15人。無料。当日直接、会場へ。先着順。

* 関市商工労働課 ☎784・8047

申請は8月6日まで

特別定額給付金

市は、5月13日までに特別定額給付金の申請書を市内全世帯に発送し、7月20日までに約98%を受理しています。

オンライン申請の受け付けは終了しました。まだ申請をしていない人は、8月6日までに郵送(消印有効)で申請をお願いします。申請書の紛失・再発行などについては問い合わせを。

市特別定額給付金コールセンター ☎784-8147